

# 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 留萌市における結果の概要について

## I 調査の概要

### 1. 調査目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 教育委員会、各学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査対象

- (1) 小学生調査 小学校第5学年（留萌市調査実施児童 男子 70名 女子 69名）
- (2) 中学校調査 中学校第2学年（留萌市調査実施生徒 男子 74名 女子 70名）

### 3. 調査事項

#### (1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

##### ・小学校調査

[8種目] 握力，上体起こし，長座体前屈，反復横とび，20mシャトルラン  
50m走，立ち幅とび，ソフトボール投げ

##### ・中学校調査

[8種目] 握力，上体起こし，長座体前屈，反復横とび，20mシャトルラン  
持久走（男子1500m，女子1000m），50m走，立ち幅とび  
ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択

##### イ 質問紙調査

・運動習慣，生活習慣等に関する質問紙調査

#### (2) 学校に対する質問紙調査

・子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

### 4. 調査実施日

平成29年4月から平成29年7月末までの期間

## Ⅱ 実技に関する調査結果の概要

### 1. 用語解説と説明

体力テスト種目	体力要素	測定	
握力	筋力	左右握力の平均値	
上体起こし	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数	
長座体前屈	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離	
反復横とび	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数	
20mシャトルラン	全身持久力	20m走行の折り返し回数	(中)どちらかの1種目 を選択
(中)持久走	全身持久力・長距離走能力	走行時間	
50m走	疾走能力	50mの疾走時間	
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離	
ソフトボール投げ (中)ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	遠投した距離	
体力合計点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点(80点満点)		
総合評価	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価		

※(中)は中学校

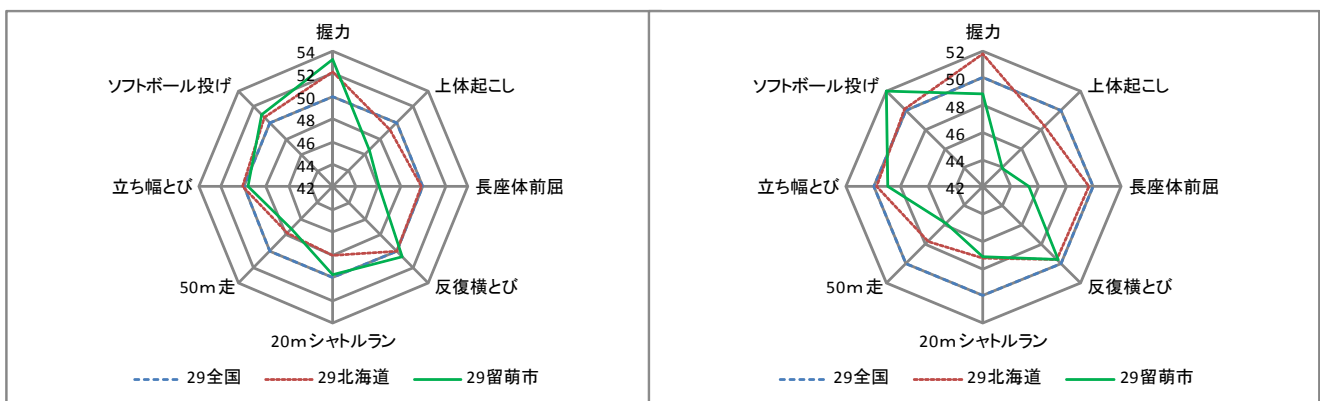
用語	解説
平均値	調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す 「平均値＝調査結果の総和／標本数」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する 平均値50点、標準偏差10点の標準得点、「T得点＝50＋10×(調査結果－平均値)／標準偏差」

### 2. 小学校5年生の結果概要

(1) 各種目の結果(全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示)

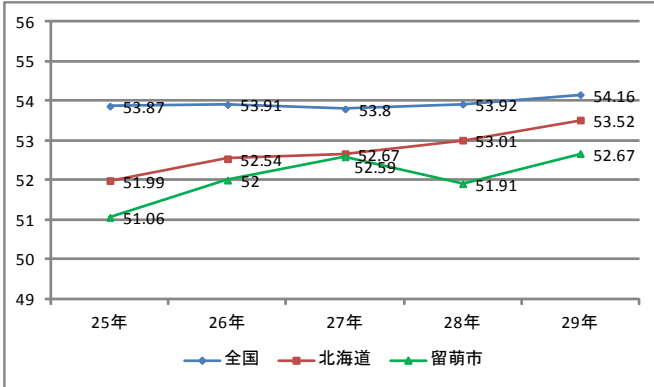
<男子>

<女子>

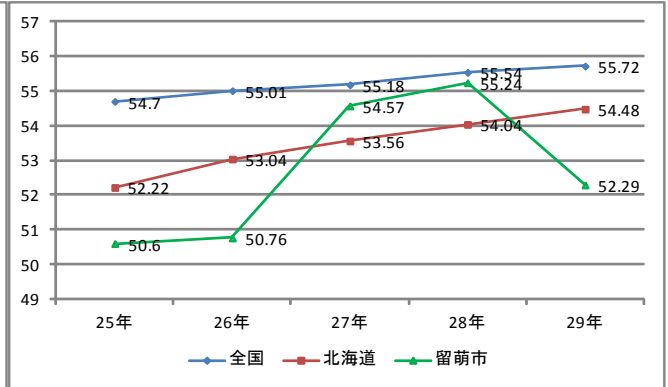


(2) 体力合計点 (平均値) の推移

< 男子 >

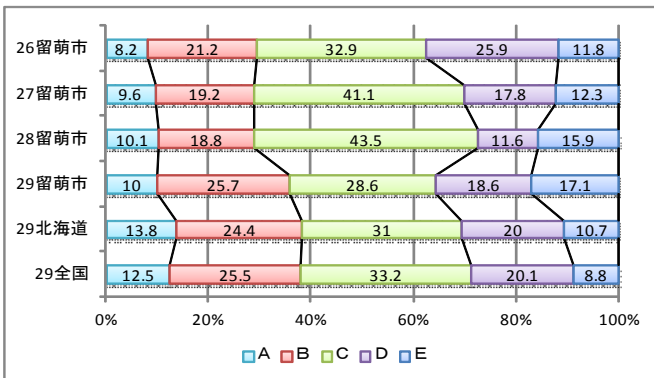


< 女子 >

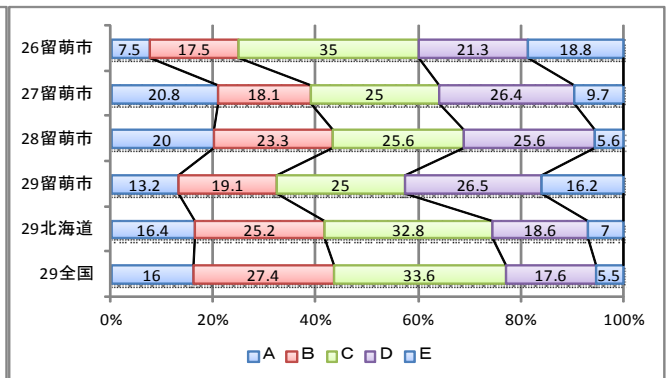


(3) 総合評価の推移

< 男子 >



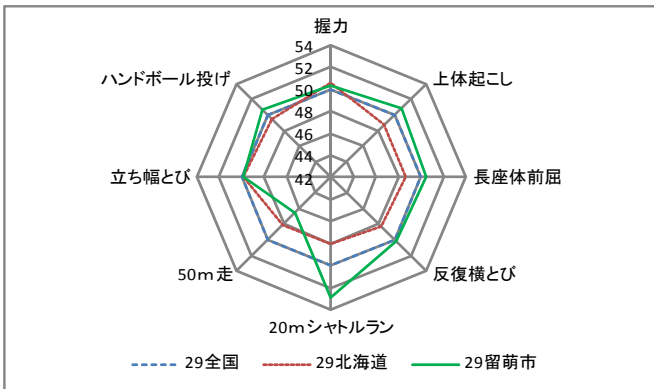
< 女子 >



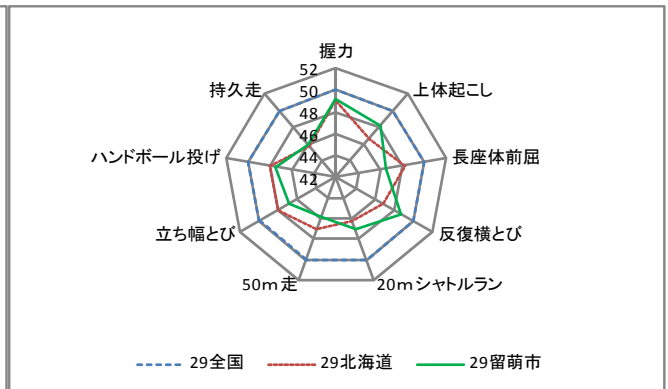
3. 中学校2年生の結果概要

(1) 各種目の結果 (全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示)

< 男子 >

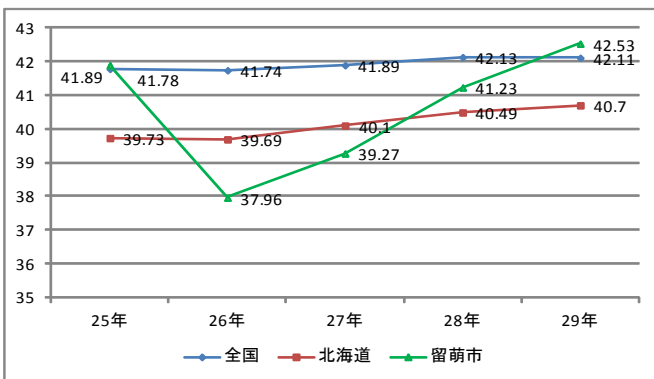


< 女子 >

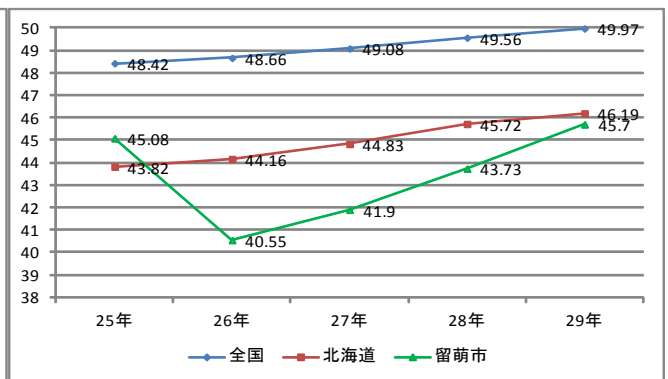


(2) 体力合計点 (平均値) の推移

< 男子 >

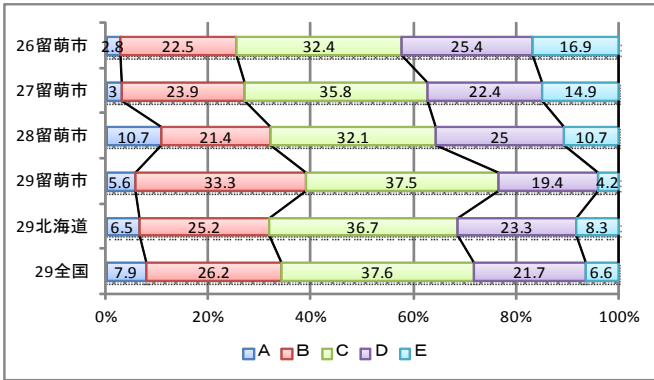


< 女子 >

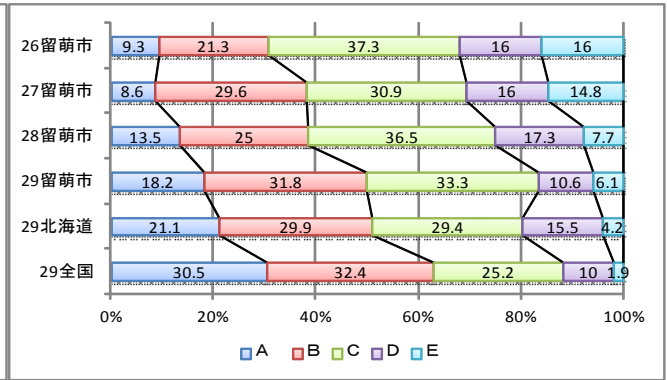


(3) 総合評価の推移

<男子>



<女子>



【小学校】

○各種目

- ・男子は「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」が全国及び全道を上回り、「20mシャトルラン」が全道を上回っている。
- ・女子は「ソフトボール投げ」が全国及び全道を上回り、「反復横とび」が全道を上回っている。

○体力合計点（平均値）・総合評価

- ・体力合計点は男女いずれも全国平均を下回っているが、男子は全国との差を縮めている。女子は昨年度より、広がっている。
- ・総合評価は男子ではA・B層の割合は増加傾向にあり、全国の割合に近づいているが、一方でD・F層の割合が全国の割合と比べ、多くなっている。女子はA・B層の割合が全国の割合と比べ少なく、逆にD・F層の割合がかなり多くなっている。

【中学校】

○各種目

- ・男子は「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」が全国及び全道を上回り、「握力」が全国を上回り、「立ち幅とび」は全道と同様である。
- ・女子は「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「持久走」が全道を上回っている。

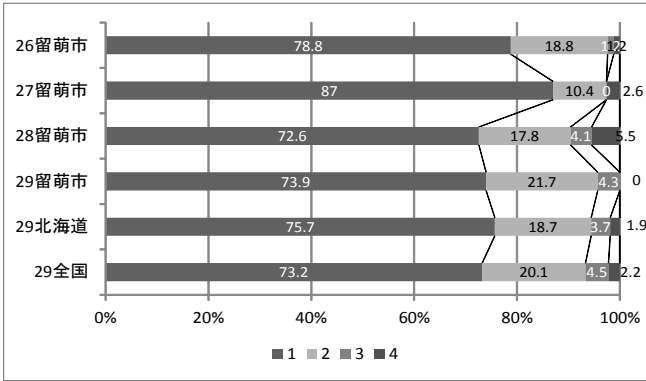
○体力合計点（平均値）・総合評価

- ・体力合計点は男子は26年以降、上昇傾向であり、今年度は全国平均を上回った。女子は全国平均を下回っているが、26年以降、全国との差は縮めている。
- ・総合評価は男子ではA・B層の割合が今年度は全国の割合より高く、26年以降は増加傾向にあり、一方でD・E層の割合は減少傾向にある。女子も同様の傾向である。

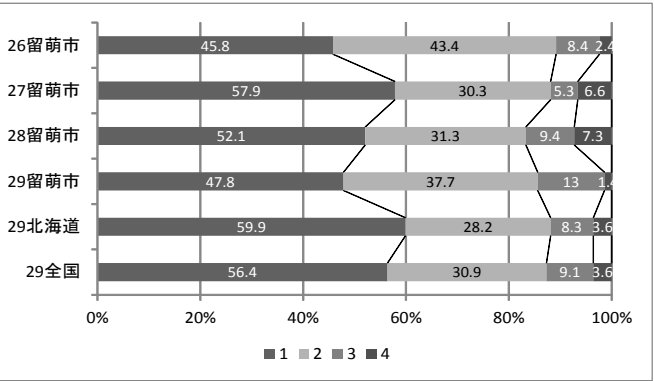
Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要

質問 1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。 1 好き 2 やや好き 3 やや嫌い 4 嫌い
------	--

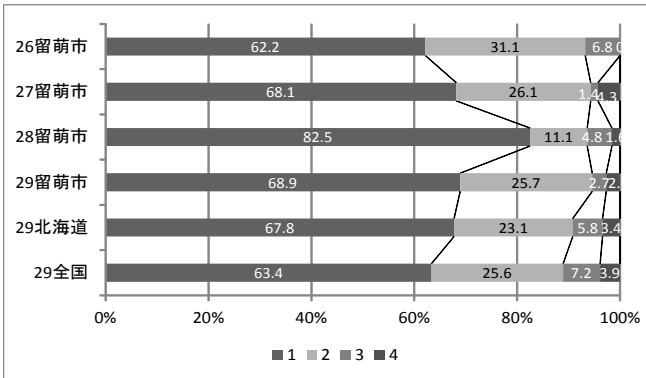
< 小学校・男子 >



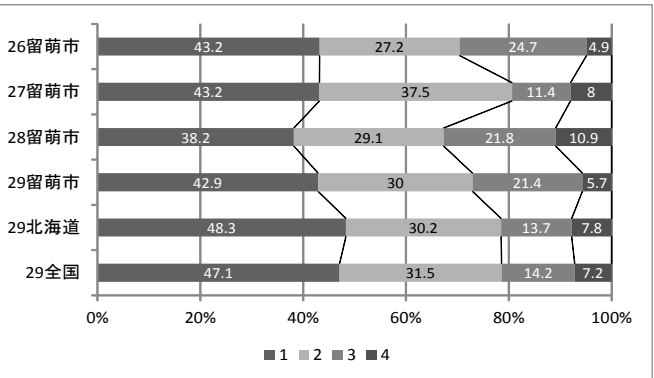
< 小学校・女子 >



< 中学校・男子 >



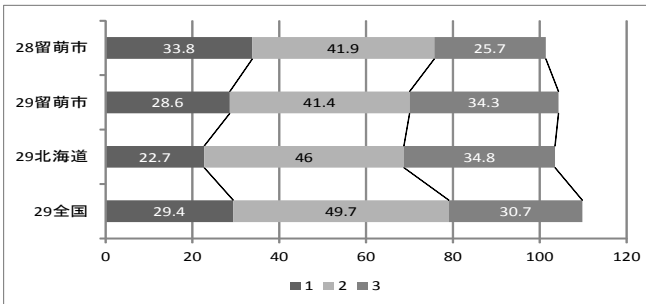
< 中学校・女子 >



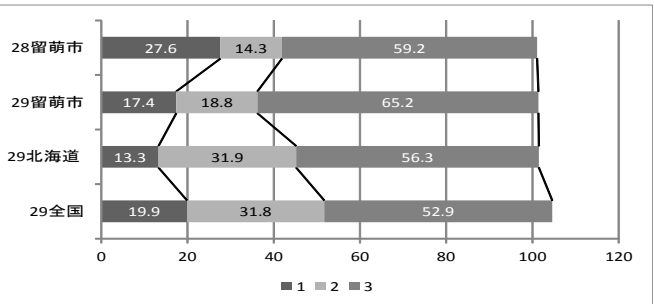
質問 2 学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。(スポーツ少年団をふくみます。) 当てはまるものを全て選んで下さい。(複数回答可)

(小) 1 運動部 2 地域のスポーツクラブ 3 入っていない

< 小学校・男子 >



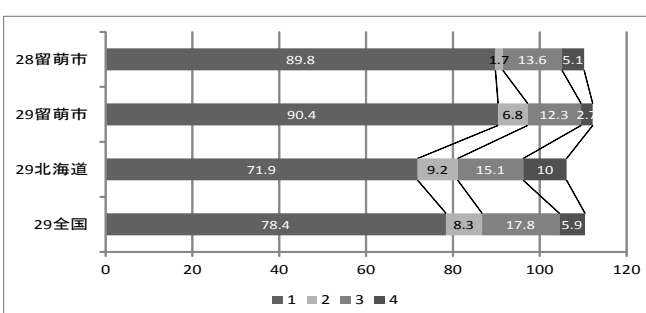
< 小学校・女子 >



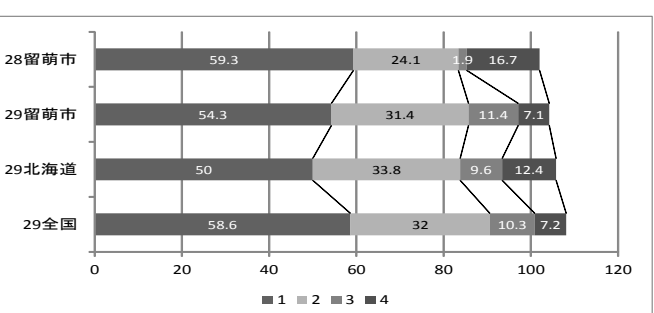
質問 2 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを全て選んで下さい。(複数回答可)

(中) 1 運動部 2 文化部 3 地域のスポーツクラブ 4 所属していない

< 中学校・男子 >

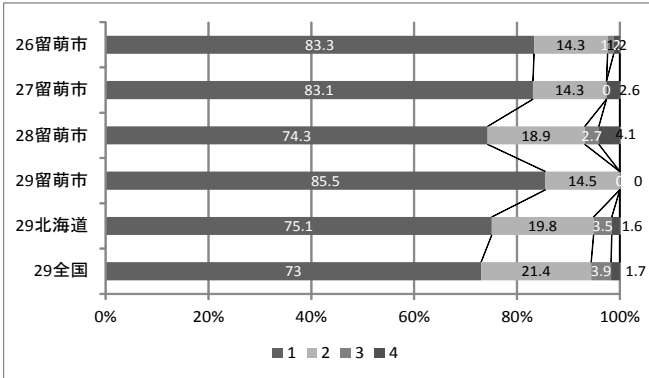


< 中学校・女子 >

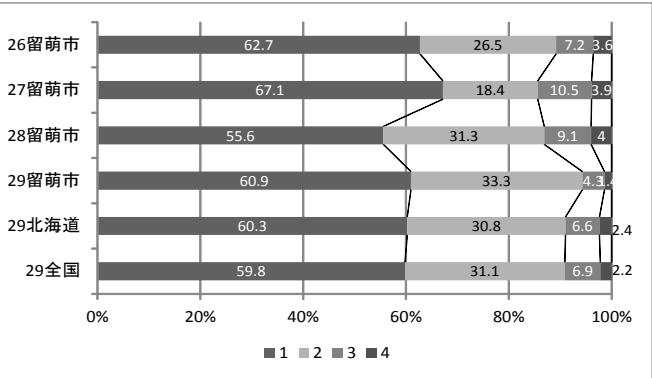


質問 3 体育（保健体育）の授業は楽しいですか。  
 1 楽しい 2 やや楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない

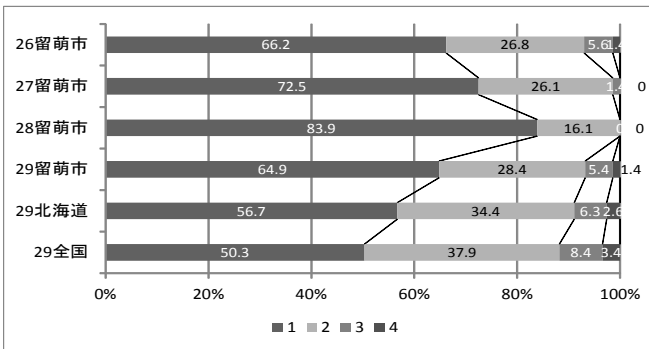
<小学校・男子>



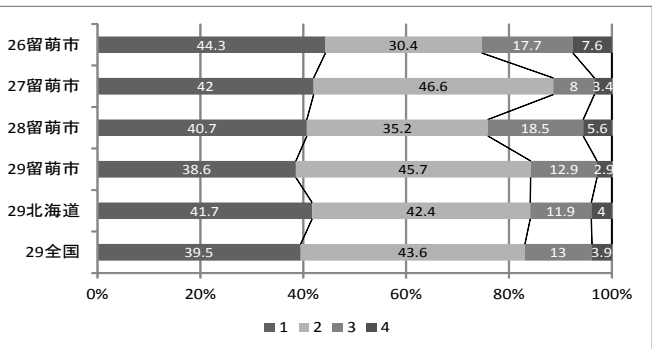
<小学校・女子>



<中学校・男子>

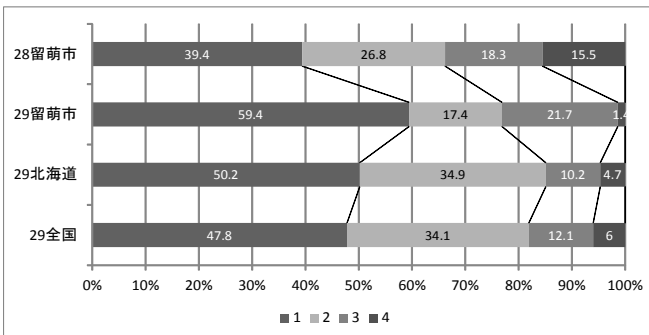


<中学校・女子>

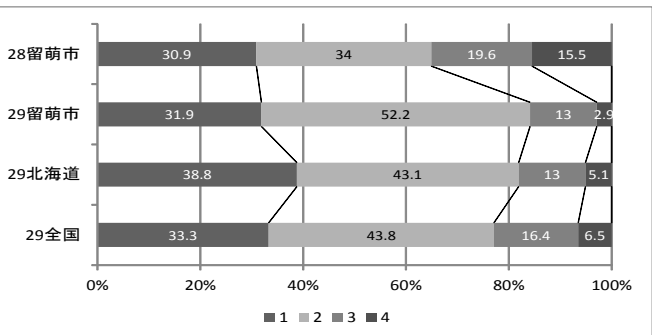


質問 4 放課後や学校が休みの日に運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。  
 1 よくある 2 ときどきある 3 あまりない 4 全くない

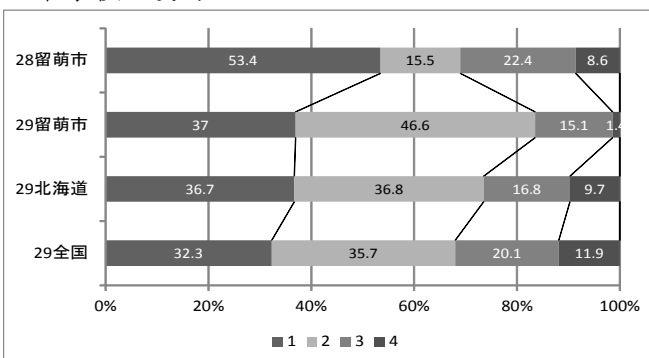
<小学校・男子>



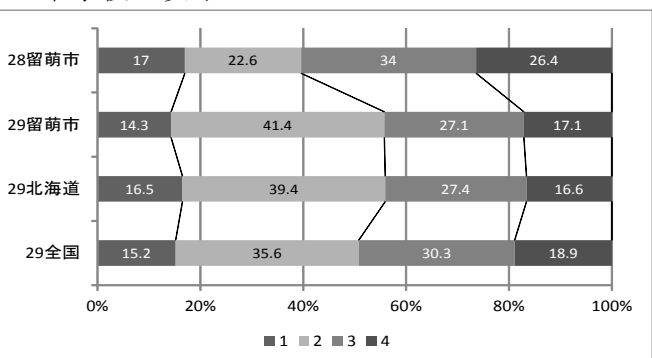
<小学校・女子>



<中学校・男子>



<中学校・女子>



【小学校】

- ・運動やスポーツをすることは好きであると肯定的に回答した児童の割合は男女ともに昨年より増加しているが、女子は全国よりは低くなっている。
- ・学校の運動部、地域のスポーツクラブに入っている児童の割合は特に女子が全国より少なくなっている。
- ・体育の授業は楽しいですと肯定的に回答した児童の割合は男女とも全国より高く、男子は100%である。
- ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする児童の割合は全国より、男子は少なく、女子は多くなっている。

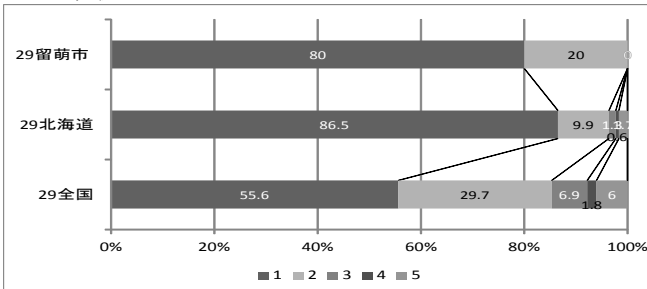
【中学校】

- ・運動やスポーツをすることは好きであると肯定的に回答した生徒の割合は全国より、男子は多く、逆に女子は少なくなっている。
- ・部活動として運動部に所属している男子は約90%、女子は約54%の生徒である。
- ・保健体育の授業は楽しいですと肯定的に回答した生徒の割合は、男女ともに全国より、多くなっている。
- ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする生徒の割合は男女ともに全国より多くなっている。

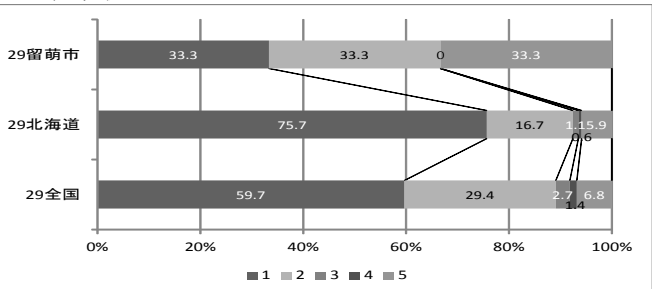
IV 学校質問紙の調査結果の概要

質問 1	平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行いましたか（行う予定ですか）。
	1 行った 2 行う予定である 3 特定の学年のみ行った 4 特定の学年のみ行う予定である 5 行わない（行う予定はない）

<小学校>

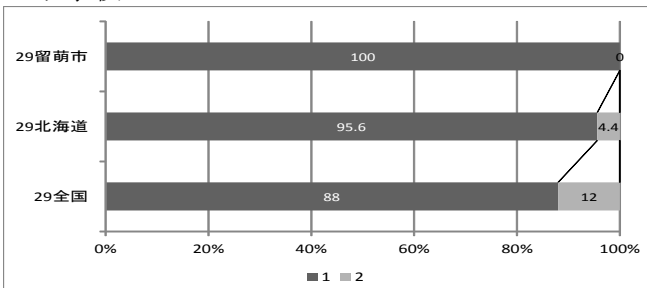


<中学校>

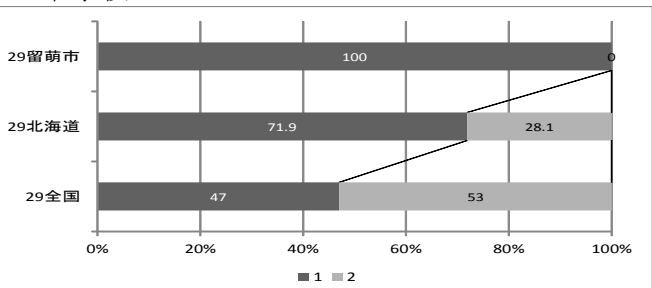


質問 2	平成28年度に、体育の授業以外で、全ての児童（生徒）の体力・運動能力の向上に係る取組をおこないましたか。
	1 行った 2 行わなかった

<小学校>

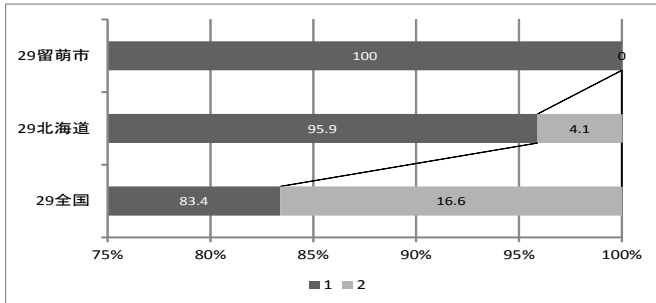


<中学校>

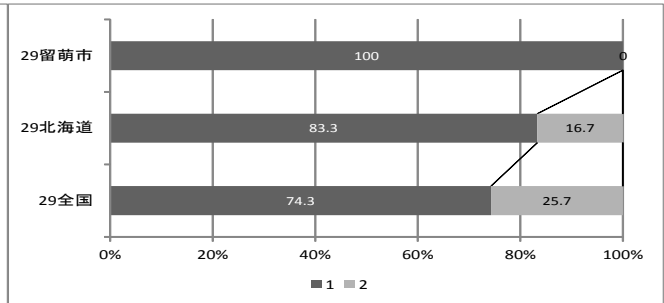


質問 3	教員同士で、児童（生徒）の体力・運動能力の向上に関する取組，体育（保健体育）の授業における指導方法の工夫・改善について検討する機会がありますか。
	1 ある 2 ない

<小学校>



<中学校>



【小・中学校】

- ・調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善が全ての小中学校で行われているが、一部の中学校では特定の学年のみで行われている。
- ・体育の授業以外の児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組については、全ての小中学校でなされている。
- ・教員同士での児童生徒の体力・運動能力の向上に関する取組等について検討する機会を全ての小中学校で設けている。

V おわりに

体力は、あらゆる活動の源として、健康維持のほか、意欲や気力の充実にも大きくかかわっており、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健やかに生きるための基盤であります。そのため、幼児期から、運動に親しむ資質や能力の育成、体力の向上に努めることが大切であります。

各学校では、新体力テストなどの結果を全教職員で共有し、実施に至る取組の工夫など、子どもたちがもって力を十分に発揮できるよう、年間体力向上プランの改善を図るとともに、授業改善に活用するなど、体力向上に向けた検証改善サイクルを確立してきています。こうした実践により、運動に対する意識向上、体育授業以外での運動やスポーツの実施時間の増加等が見られ、総じて、体力合計点での伸びや総合評価における下位層の割合の減少など着実に成果を上げてきているところです。

今後も引き続き各学校における「1校1実践」の取組や、適切な運動量を確保する体育・保健体育科等の授業改善をすすめるとともに、家庭や地域、関係機関と連携しながら、児童生徒の運動や健康への関心を高めてまいります。